

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度

[対象期間：2023年4月～2024年3月]

発行日：2024年10月1日作成



有限会社 常盤組

<目次>

1. 環境経営方針	3
2. 組織の概要	4
3. 体制	6
4. 許可情報	7
5. 環境経営目標と環境活動計画	8
6. 環境経営目標の実績と評価	10
7. 環境経営計画の取組結果とその評価	12
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価	13
9. 代表者総括	14

1.環境経営方針

環境理念

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、エネルギーや資源の効率的な利用を行い、環境経営方針に基づく活動に積極的に取り組み、地域社会の発展、地球環境保全活動に自主・積極的に取り組みます。

環境保全への行動指針

1. 次の事項について環境経営目標・経営計画を定め、環境負荷低減に継続的に努めます。

①電力・燃料などのエネルギーの効率的な使用と省エネに努め、二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）

②産業廃棄物の削減及び再資源化の推進（資源循環型社会への対応）

③水使用量の削減

④収集運搬の燃費の改善（2025年度より目標設定）

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 環境に配慮した車両導入、運行を心がけます。

4. 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を実施し、3M（無理・無駄・むら）を排除し日常行動基本として事業活動を行います。

5. 個々の能力を最大限に引き上げるため、社員のコミュニケーションを図るとともに、人を育成し、「夢の実現」に向け社員の力をつけていくこととします。

6. 地域環境の一層の改善が地域住民共通の願いであることを認識し、地域環境改善意識のさらなる向上、地域貢献活動に努めていきます。

制定日 2009年 8月31日

改定日 2021年12月15日

改定日 2022年 5月31日

改定日2023年12月14日

有限会社 常盤組

代表取締役 池月 恵津子

2. 組織の概要

(1) 社名及び代表者名

有限会社 常盤組

代表取締役 池月 恵津子

(2) 所在地

本社 東京都小平市天神町一丁目3番32号

西東京支店 東京都西東京市田無町2-11-7-801

東久留米支店 東京都東久留米市滝山3-11-14-103

(3) 環境管理責任者名及び連絡先

取締役 本部長 岡田 敦

Tel (042) 341-3524 Fax (042) 341-7878

E-mail : eco@tokiwagumi.co.jp

(4) 従業員数

27名

(5) 事業活動の概要

- ・一般廃棄物収集運搬業（家庭系・事業系）
- ・特定家電（収集・運搬）
- ・産業廃棄物収集運搬業（積替・保管）
- ・産業廃棄物処分業（汚泥中間処理）
- ・一般貨物運送業
- ・浄化槽保守点検業

(6) 汚泥中間処理施設

- ・産廃の種類：汚泥
- ・処理能力 ：1日20立米
- ・処理方法 ：薬注固化
- ・場所；東京都小平市天神町一丁目3番32号

(7) 取扱量

- ・一般廃棄物収集運搬；6, 479 t

(事業系：902 t 家庭系：5, 577 t)

- ・産業廃棄物収集運搬；316.08 t

(汚泥 237.4t 廃プラスチック類 50.6t、木くず 0.21t、金属くず 24.01t、ガラスくず類 3.86 t)

- ・汚泥受入量(中間処理量) 961.95 t

- ・汚泥搬出量292.6t

(8) 施設の概要

①産業廃棄物積替・保管

保管積替場所：約988m³、保管容量:約44.2m³、保管高:2m、鉄骨、鉄板壁構造

②産業廃棄物処分(汚泥中間処理)

- ・受入槽：鉄筋コンクリート層 20m³

受入1回あたり1.7m³ 1日平均3回 月20日、60回/月

- ・薬液注入固化槽：容量15m³、鉄筋コンクリート製、

処理：10m³/1回、月平均5回

薬剤：石灰(1,120kg/年)、消臭剤(280kg/年)

- ・曝気沈殿槽：鉄筋コンクリート層 30m³

【処理工程】

汚泥吸排車⇒受入槽⇒薬液注入固化槽⇒固形物回収⇒搬出

↪(廃液) 曝気沈殿槽⇒廃液

(9) 設立年月日 昭和37年4月2日

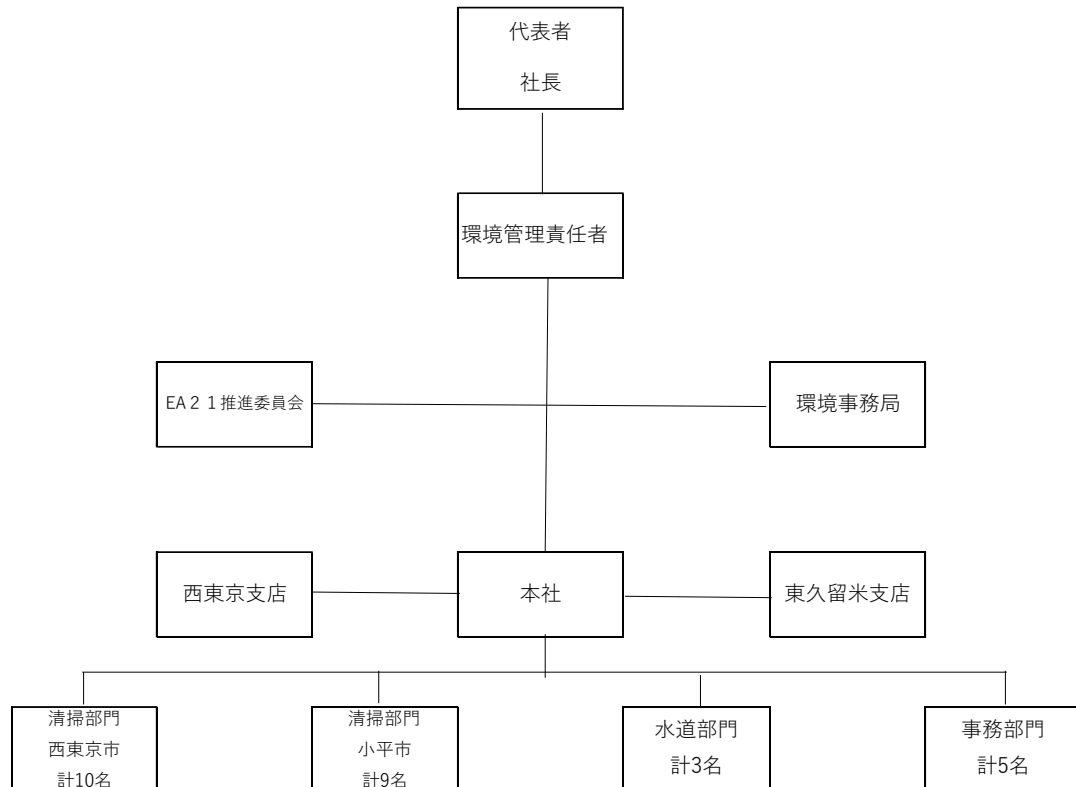
(10) 資本金 600万円

(11) 売上高 1億5000万円

3. 組織

2024年7月1日現在

有限会社 常盤組 環境経営システム組織図



車輛関係

(1) 収集運搬車		(2) 作業車両	
4トンパッカー車	3台	ユンボ	3台
3トンパッカー車	10台	ショベルローダー	1台
平ボディ車	4台	フォークリフト	1台
アームロール車	1台	(3) 営業車	
下水車	3台	乗用車	3台
バキューム車	1台		
軽トラック	1台		

4. 許可・登録情報

産業廃棄物 収集運搬業	東京都 第13-10-020883号 種類：燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くず、金属くず、紙くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、鋳さい、がれき類 許可年月日：令和元年11月30日 期限：令和6年11月29日まで（現在申請中）
	神奈川県 第01402020883号 種類：燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類 許可年月日：令和4年3月1日 期限：令和9年1月31日まで
	埼玉県 第01100020883号 種類：廃プラスチック類、木くず、金属くず、がれき類 許可年月日：令和4年1月6日 期限：令和9年1月5日まで
産業廃棄物処 分業	東京都 第13-20-020883号 種類：汚泥 許可年月日：令和元年11月30日 期限：令和6年11月29日まで（現在申請中）
一般廃棄物収 集運搬業と 浄化槽清掃業	小平市 許可-廃第4号 （事業系一般廃棄物収集運搬業） 許可年月日：令和6年4月1日 期限：令和8年3月31日まで 許可浄第2号（浄化槽清掃業） 許可年月日：令和6年4月1日 期限：令和8年3月31日まで
	東久留米市 6許可第1号 （一般廃棄物収集運搬業） 許可年月日：令和6年4月1日 期限：令和8年3月31日まで 6許可浄第2号（浄化槽清掃業） 許可年月日：令和6年4月1日 期限：令和8年3月31日まで
	武蔵村山市許可第23号（一般廃棄物収集運搬業） 許可年月日：令和5年11月28日 期限：令和7年11月27日まで
	武蔵野市許可第14号（一般廃棄物収集運搬業） 許可年月日：令和6年4月1日 期限：令和8年3月31日まで
	西東京市 許可-廃第2-6号 （事業系一般廃棄物、特定家庭用機器廃棄物収集運搬業） 許可年月日：令和6年4月1日 期限：令和8年3月31日まで
	東京都 浄保(10) 第119号 許可年月日：令和5年1月16日 期限：令和10年1月15日まで
	東京都知事許可（般-3） 第51520号 許可年月日：令和3年7月20日 期限：令和8年7月19日 ※ 売上1%未満

5. 環境経営目標と環境経営計画(2022年～2025年)

環境経営目標（数値目標）

	環境経営目標		基準年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
			2020年度				
1	二酸化炭素排出量の削減		263,945 kg-CO2	253,387 (4.0%削減)	253,387 (4.0%削減)	250,484 (5.1%削減)	250,220 (5.2%削減)
2	電力使用量の削減	(kWh) (kg-CO2)	16,268kWh 7,174kg-CO2	15,945kWh 7,032 (2%削減)	15,861kWh 7,000 (2.5%削減)	15,470kWh 6,822 (4.9%削減)	15,454kWh 6,815 (5.0%削減)
3	自動車燃料使用量の削減	(kg-CO2)	256,773 (kg-CO2)	246,502 (4.0%減)	246,245 (4.1%削減)	210,554 (18.0%削減)	209,270 (18.5%削減)
4	一般廃棄物の削減		577kg	573kg (0.7%削減)	570kg (1.2%削減)	567kg (1.7%削減)	565kg (2.1%削減)
5	水使用量の削減		888m ³	879m ³ (1.0%削減)	884m ³ (0.5%削減)	880m ³ (0.9%削減)	875m ³ (1.5%削減)
6	収集運搬の燃費の改善(2024年から目標)				2.97km 2023年度 実績	3.12km (100.5%増加)	3.15km (100.6%増加)

電気の二酸化炭素排出係数は0.441kg-CO2/kWhを使用した

昨今の地球温暖化により、燃料高騰、エアコン設定温度を鑑み、基準年度を見直した

※汚泥含水率の低減に関しては含水率が正確に計測できないため、2024年からは燃費にする

※燃費は1ℓ当たりの走行距離なので、削減ではなく増加になります

環境経営計画

	取組項目	単年度目標	長期目標	担当者	取 組 内 容
1	二酸化炭素排出量の削減	年間の削減率は 上段 参照	3力年で 5.2%の 削減	場内作業 者 運搬担当者 事務所	①各取組項目において使用量削減を推進する ②全活動においてCO2削減の意識付けを行う
2	電力使用量の削減	年間の削減率は 上段 参照	3力年で 5.0%の 削減	場内作業 者 運搬担当者 事務所	①室内空調温度を夏季28℃、冬季20℃に設定 ②昼休み、不在時の照明の消灯をおこなう ③フィルター、照明の掃除をこまめに行う
3	自動車燃料使用量の削減	年間の削減率は 前頁参照	3力年で 18.5%の 削減	場内作業 者 運搬担当者 事務所	①日常点検は欠かさず、定期的な車両整備の実施。 ②走行距離と供給燃料の記録を取る
4	一般廃棄物の削減	年間の削減率は 前頁参照	3力年で2.1% の削減	場内作業 者 運搬担当者 事務所	①紙使用量の削減を行う。 ・裏紙の使用、裏紙メモ用紙の再利用 ②印刷時は裏紙を使用、または2in1の印刷 ③資源ごみ分別の徹底を図る
5	水使用量の削減	年間の削減率は 前頁参照	3力年で1.5% の削減	場内作業 者 事務所	①水使用時の垂れ流しをしない ②節水の徹底を行う
6	収集運搬の燃費の改善	2024年度より目標値をたてる			

※汚泥含水率の低減に関しては含水率が正確に計測できないため、2024年からは燃費にする

〈定性目標〉

- ・コミュニケーションの充実→業務効率の改善
- ・電子化及び関連する業務の向上

〈その他の取り組み〉

・グリーン購入

事務用品及び機材等の節約と環境にやさしい商品の購入に置き換えていくことで省エネを図る。

保存文書のP C化、資源の活用。

洗車時による水道及びエアコン使用の削減、フィルター掃除。

・過積載の防止

過積載をしないよう、配車の工夫をする。

塵芥車の日常点検及び回転盤の制限。

廃棄物の排出量の把握。

最大積載重量及び、容量での収集。

・社会貢献

市民祭り及び防災訓練等に参加

小平市・西東京市主催の環境フェスティバルに参加

リサイクルの為の陶器の分別・食物残差のリサイクルとして堆肥の袋詰め

地域の定期ゴミ拾いに参加

環境美化活動・安全運転研修・日常点検研修・クレーム対応研修の参加

6. 環境経営目標の実績と評価

(◎：目標達成 ○：基準年以下・基準値はないが実施できた ×：目標・基準達成できず)

環境目標	基準年度		2023年度		評 価
	2020年度		目標	実績	
1 二酸化炭素排出量の削減	263,945	kg-CO2	253,387 (4.0%削減)	256,773 (2.71%削減)	○
2 電力使用量の削減	(kWh) (kg-CO2)	16,268kWh 7,174kg-CO2	15,861kWh 7,000 (2.5%削減)	15,448kWh 6,797 (5.04%削減)	◎
3 自動車燃料使用量の削減	(kg-CO2)	256,773 (kg-CO2)	246,241 (4.1%削減)	209,716 (18.33%削減)	◎
4 一般廃棄物の削減		577kg	570kg (1.2%削減)	576kg (0.18%削減)	○
5 水使用量の削減		888m ³	884m ³ (0.5%削減)	1107m ³ (24.66%増加)	×

※水漏れのため

<その他の取り組み>

グリーン購入	数値目標なし	事務用品など詰め替えを利用する	○
過積載防止	数値目標なし	過積載防止を考えた配車する	◎
社会貢献	数値目標なし	市民祭、ミニフェスティバル参加等	○

7. 環境経営計画取組結果とその評価及び次年度取り組み内容

1.二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素総量は達成。

電力による二酸化炭素は達成。

自動車燃料による二酸化炭素の排出量は達成。

来年度はさらに目標達成に努力する。

2.電力使用量の削減

節電運動展開、不要照明の消灯、クールビズ運動、設備の空運転防止

エアコン冷房27℃暖房21℃で設定。エアコンをこまめに清掃。

首に冷たいタオル、ファン付きベストを使用。

評価：上記の取り組みをしてもエアコン使用は欠かすことが出来なかった。

次年度の取り組み内容：継続して取り組むが、年々地球温暖化の影響もあり目標達成が厳しい。

3.自動車燃料の削減

アイドリングストップ、急加速・急停車の防止、デジタルタコグラフ運用による指導。

評価：エコドライブを心がけアイドリングストップ。

短い距離で行けるように事前に短距離を

検討するなど行った。

燃料の高騰、排出量が増え、また、焼却所への運搬場所の変更により

距離も長くなった。

4.一般廃棄物の削減

裏紙使用、ミスコピーの防止、コピーをするときは二分割印刷をするようにする、

分別による古紙のリサイクル化、書類による印刷物の削減。

書類保存などは紙媒体からパソコン管理化に移行。

評価：おおむね良好。引き続き継続的に取り組む努力をする。

次年度の取り組み内容：継続して取り組む。

5.水使用量の削減

水漏れがあり達成できず。節水呼びかけ。高圧洗浄及び、場内洗浄の使用削減。

評価：水漏れ以外の月は目標は概ね達成できたが、更に指導・推進。

次年度の取り組み内容：継続して取り組む。

その他の取り組み

・グリーン購入

目標値は設定していないが、事務用品及び機材等の節約と環境にやさしい商品の購入に置き換えていくことで省エネを図った。

次年度の取り組み内容：文房具、用紙についてはエコマークのついたものの購入を進めていく。

・過積載の防止

過積載をしないよう、配車の工夫を行った。

次年度の取り組み内容：過積載件数0を継続して実現できるように推進。

・社会貢献（地域の環境活動への参加）

西東京市、小平市では防災訓練に参加、近隣の小学校に呼ばれ、はたらく車の講習会として地域参加などを行っている。

地域の環境活動の一環として、西東京市では市民祭や清掃活動に参加、小平市では市民まつり、環境フェスティバル等に参加している。

また、地域の安全通行に伴う交通整理・誘導を行っている。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価

環境関連法規への違反はありません。また、関係当局よりの違反の指摘、訴訟等は過去3年間ありません。

●主な法令の遵守状況

法 令 名	遵守項目	評 価
廃棄物処理法	- 産業廃棄物の収集運搬・保管、中間処分の許可処理 - 産業廃棄物管理票（収集運搬・保管・中間処分のマニフェストの発行、管理） - 排出事業者 A、B2、D、E票 - 運搬業者 B1、C2票 - 処分業者 C1票 - 処理業の表示	- 関連都県の許可取得 - 事業者との契約 - マニフェストの管理等、遵守適法 - 表示済
市廃棄物関係条例	一般廃棄物の収集運搬等の許可	関連市取得済
東京都環境確保条例	指定作業場の届出 騒音・振動・悪臭規制	届済 規制基準遵守
消防法 東京都火災予防条例	危険物の貯蔵、取扱制限 指定可燃物の届出、表示	届済 表示済み
フロン排出抑制法※	第1種特定製品（業務用エアコン）の簡易点検、等	点検済

※来年度は業務用エアコンはなくなるため、点検なしとなる

9. 代表者総括

(環境経営システムの有効性、環境への取組の適切等)

事業量（廃棄量の数値）の増加や社員の増加に伴い、環境目標の達成が難しい面があるが、引き続き活動で取組を継続すること。

2017年版への移行完了に併せて、活動の幅を広げていきたい。補修工事内容、社内の環境の変化に添った取組を行うよう努力をすること。目標の見直し、評価方法の変更等を検討すること。

平成23年1月の認証・登録から13年が経過したこともあり、目標の見直し、評価方法の変更を再検討こととする。今後引き続き取組を推進し新たな目標を再構築し、目標達成に努めたい。